

一問一答方式による一般質問



岩沼市防犯カメラ設置補助事業

酒井 信幸



問 安全安心なまちづくりの実現を目指し、犯罪の起こらない環境整備として防犯カメラの設置事業を行ってきた。これまで何件の町内会等が設置したのか。

生活環境課長 平成31年度、令和元年度は3団体が10台設置し、令和2年度は1団体が1台設置しました。合計で4団体が11台設置しました。

問 この事業で設置した防犯カメラの件数及び効果について、どう捉えているのか。

市民経済部長 防犯カメラを設置した地域では、防犯力の効果につながっていると思います。令和2年度は1台のみで、補助制度の利用が低調であると捉えています。

維持管理の補助を考えて

問 岩沼市安全・安心まちづくり懇談会の会議で、委員より防犯カメラの維持管理に対する補助を考えてほしいとの意見があった。今後検討するとの答弁であったが、どのように検討するのか伺う。

市民経済部長 各町内会に防犯カ

メラ設置の要望確認と、補助制度に対し、意見調査の実施を考えています。

問 防犯カメラが捉えた事件や事故等の映像が毎日報道されている。抑止力として防犯カメラの必要性は高まっていると思うが考えを伺う。

市長 犯罪の未然防止、検挙等にも効果があり、防犯カメラの有用性に対する意識は非常に高まっています。一方では、個人のプライバシーもありますので、慎重に対応していきたいと思えます。

問 岩沼市防犯カメラ設置補助事業は、他の自治体と比べて設置費用や更新費用の補助率が高い。安全・安心まちづくりの事業を積極的に推進するべきと思うがどうか。

市長 新設・更新までは制度的に助成していきます。維持費については町内会で負担してもらいたいですが、有用性について効果が出れば、考えていく必要もあると思えます。

◎その他の一般質問  
・ヤングケアラー問題



市内小中学校の新型コロナウイルス感染症対策およびICT教育

佐藤 剛太



問 コロナ禍の中、さまざまな学校行事などの中止で保護者と学校の距離が遠くなっていると感じる。非常時でもICTを活用することで、学校と家庭がつながることができるとは思いませんか伺う。

学校教育課長 ICTの活用で学校と家庭がつながっていくことは、可能と考えます。

中止を見直し代替事業を

問 教育委員会では、8月27日に、令和4年3月31日までの宿泊を伴う学校行事を中止することを決定した。しかし、修学旅行や運動会など子どもたちの心に残る事業は、自分たちに自信をつけたり、学校生活の潤いになったりとか思

い出に残る有意義な教育活動である。感染が拡大している中では実施は無理だが、感染が落ち着いた際は、今後の感染状況を踏まえ、感染症対策の確実な実施や保護者などの理解、協力を前提に、中止の見直しや代替事業を考えるべきではないか。

教育長 コロナ禍の中で実施した

場合、宿泊先で感染者が出るのではないかと不安があります。また、実施直前に感染者が出た場合、多額のキャンセル料が必要になります。そして、一番に心配したのは、その直前になって誰かが感染することです。感染した子どもがいれば中止ですから、その中止の子の心の負担を考えたいからです。

問 感染拡大している中で、行事が中止になるとするのは、皆さんが理解している。しかし、大切なのは、子どもたちが心待ちにしていた行事が中止になったことへの配慮のある伝え方ではないか。

教育長 宿泊合宿等の行事の中止については、校長会の中で十分に検討いたしました。そのことを各学校で担当者に詳しく説明を行い、そしてPTA役員や保護者にも事前に行事等の中止についての説明を行うべきと伝えていきます。しかし、教育委員会が勝手に決めたという非難がありますが、それは大きな誤解です。